

日薬業発第 134 号
令和 3 年 7 月 21 日

都道府県薬剤師会会長 殿

日 本 薬 剤 師 会
会 長 山 本 信 夫
(会 長 印 省 略)

「健康食品」の安全性・有効性情報の利活用に関する実態調査」
に係るご協力をお願い

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

標記について、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 食品保健機能研究部より別添のとおり協力依頼がありました。

本調査は、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所が運営している「健康食品」の安全性・有効性情報データベースのサイトについて、専門家が患者・住民への助言や指導にあたり、より当サイトを利活用できるよう、掲載情報の充実をはかるため、その活用方法や情報の過不足についてWebページ上で回答いただくものとなっています。

調査期間は、令和 3 年 8 月 1 日～8 月 31 日と予定されており、下記Web調査ページにアクセスし、回答することが可能です。

会務ご多用のところ恐縮ながら、貴会会員にご周知下さるようお願い申し上げます。

記

回答URL : <https://ans.i-enquete.jp/hfnet/>

※QRコードからも回答可能です。



以上

令和3年6月1日

公益社団法人 日本薬剤師会
会長 山本 信夫 殿

研究代表者
国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所
食品保健機能研究部 部長 千葉 剛

ご協力をお願い

「健康食品」の安全性・有効性情報の利活用に関する実態調査の実施について

近年、健康寿命の延伸のためのセルフケアとして健康食品の活用が推奨される一方で、プレリア・ミリフィカを含有する健康食品の利用が原因と思われる健康被害も多発しました。このような健康食品の利用による健康被害の未然・拡大防止のため、当研究所では、医療従事者等の専門家の皆さま向けに「健康食品」の安全性・有効性情報サイト運営をして参りました。

今後、より専門家の皆さまが利活用しやすいサイト運営を目指し、健康食品の素材/成分の有効性及び安全性情報の他、主要な情報に関しては、情報内容の見直しを検討しています。

そこで、専門家の皆さまの業務での当サイト利活用の実態を把握したいと考えました。どうぞ、調査の御理解と御協力を、よろしくお願い申し上げます。

■ 本件に関する問合せ

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所 食品保健機能研究部（種村 菜奈枝）
メールアドレス:n-tanemura@nibiohn.go.jp

■ 実施概要

1) 利用実態調査

- ・対象: 医師、薬剤師、栄養士等の専門職
(団体 日本医師会、日本薬剤師会、保険薬局協会、日本栄養士会、アドバイザースタッフ研究会)
悉皆調査のため各団体にご所属の会員の先生方にご回答をお願いしたいと考えています。
- ・時期: 2021年8月(予定)
- ・実施: オンライン調査(10分程度)
- ・設問: 最大33問
- ・内容: 「健康食品」の安全性・有効性情報データベースの活用方法や情報の過不足について
オンライン調査でご回答頂きたいと考えています。



2) 意見交換会

- ・対象: 医師、薬剤師、栄養士等の専門職(各団体より2名程度の代表者様)
(団体 日本医師会、日本薬剤師会、保険薬局協会、日本栄養士会、アドバイザースタッフ研究会)
- ・時期: 2022年1月(予定)
- ・実施: 対面もしくはオンラインミーティング(2時間程度)
- ・議題: 事前に討議すべき論点を設定させていただきます。
- ・内容: 利用実態調査も踏まえ、“専門職が臨床現場で活用したい情報とは?”というテーマで
それぞれの専門職の立場でのご意見をお聞かせ頂きたいと考えています。

【事業名】

「健康食品」の安全性・有効性情報データベースを活用した健康食品の安全性確保に関する研究
令和3年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金 (食品の安全確保推進研究事業)

研究代表者・千葉 剛

研究分担者・種村菜奈枝